

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡医健・スポーツ専門学校
設置者名	学校法人滋慶文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	柔道整復科	夜・通信	1,996	240	
	柔道整復科	夜・通信	1,996	135	
	救急救命公務員科	夜・通信	1,605	240	
	鍼灸科	夜・通信	1,935	240	
	理学療法科	夜・通信	3,300	320	
	作業療法科	夜・通信	2,010	320	
	薬業科	夜・通信	930	160	
	歯科衛生士科	夜・通信	900	240	
	看護科	夜・通信	1,650	240	
文化・教養専門課程	スポーツ科学科	夜・通信	1,035	160	
商業実務専門課程	医療事務ビジネス科	夜・通信	1,050	160	
(備考) 柔道整復科夜間は2018年度生より募集停止					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページに掲載 https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo02
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡医健・スポーツ専門学校
設置者名	学校法人滋慶文化学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページに掲載

https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo03

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	キャリア教育関連団体 代表理事	令和元年6 月1日～令 和3年5月 29日	学校運営に関する情 報収集
非常勤	他の学校法人 常務理事	令和元年6 月1日～令 和3年5月 29日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡医健・スポーツ専門学校
設置者名	学校法人滋慶文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校ホームページに掲載</p> <p>https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo02</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点</p> <p>尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内での課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。 このことは、ホームページで公開すると共に、学生便覧に掲載し入学時の新入生オリエンテーションにて周知している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>4段階評価に加え、GPA制度による成績評価も行っている。評価対象となる科目は、基本的には通常授業科目で、かつ試験等で点数評価をされる科目。対象とならない科目は、特別教育分野の科目で、点数評価ではなく単位認定のみされる科目、例えば「海外実学研修」など。</p> <p>評価分布の判断は「GPA」制度を活用し、実施する。</p> <p>点数100～90点：A評価（GP4.0）合格 点数89～80点：B評価（GP3.0）合格 点数79～70点：C評価（GP2.0）合格 点数69～60点：D評価（GP1.0）合格 点数59～0点：F評価（GP0.0）不合格 ※出席率66.7%以上</p> <p>GPAとは、当該科目の5段階評価を4.0～0までの点数（GP）に置き換え、単位数をかけ、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均値であり、この数値で成績の分布状況（順位）を把握している。</p> <p>このGPA制度による評価はホームページで公表すると共に、学生便覧に掲載し入学時の新入生オリエンテーションにて周知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧に記載 学校ホームページに掲載 https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo02</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1. スポーツ科学科、医療事務ビジネス科、薬業科

1年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。また、2年次までの合計修得単位が114単位以上の者は、卒業することができる。

2. 柔道整復科、鍼灸科、救急救命公務員科、歯科衛生士科、看護科、理学療法科、作業療法科

当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目が1科目以上あれば、進級・卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が総授業回数 $\frac{2}{3}$ 未満の者は進級・卒業できない。

学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。

このことは、**ホームページで公表すると共に**、学生便覧に記載し、学生へ周知している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧に記載 学校ホームページに掲載 https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo02
----------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡医健・スポーツ専門学校
設置者名	学校法人滋慶文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校ホームページに掲載 https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo08
収支計算書又は損益計算書	学校ホームページに掲載 https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo08
財産目録	学校ホームページに掲載 https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo08
事業報告書	個別請求にて公開 電話にて請求 092-262-2119
監事による監査報告(書)	学校ホームページに掲載 https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo08

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,912 単位時間/単位	2042 単位時間 /単位	単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	690 単位時間 /単位	
			2,912単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
270人		187人	0人	8人	19人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。
成績評価の基準・方法
（概要）試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4

<p>段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。 A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点 尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内の課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目が1科目以上あれば、進級・卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が総授業回数の3分の2未満の者は進級・卒業できない。 学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。 このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流COMによる留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。</p>

<p>卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
48人 (100%)	16人 (33.3%)	28人 (58.3%)	4人 (8.3%)
<p>(主な就職、業界等) 整骨院 鍼灸整骨院 整形外科 等</p>			
<p>(就職指導内容) キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。</p>			
<p>(主な学修成果 (資格・検定等)) 柔道整復師</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
162人	9人	5.6%

(中途退学の主な理由) 学力不足 進路変更 目的意識喪失 人間関係 等
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校（80校）への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,912 単位時間/単位	2042 単位時間 /単位		180 単位時間 /単位		690 単位時間 /単位
	2,912 単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		10人	0人	8人	5人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。
成績評価の基準・方法
（概要）試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。 A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点 尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数3分の2未満の者。②平常授業内での課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目が1科目以上あれば、進級・卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が総授業回数の3分の2未満の者は進級・卒業できない。</p> <p>学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。</p>
学修支援等
<p>(概要) 担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流COMによる留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	2人 (22.2%)	7人 (77.8%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 整骨院 鍼灸整骨院 整形外科 等			
(就職指導内容) キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 柔道整復師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	3人	13.6%
(中途退学の主な理由) 学力不足 目的意識喪失 等		

(中退防止・中退者支援のための取組)

学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校（80校）への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命公務員科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間/単位	810 単位時間 /単位	1,005 単位時間 /単位	1,125 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,940 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
135人		75人	0人	3人	15人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。

成績評価の基準・方法

(概要) 試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。

A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点

尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内での課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。

卒業・進級の認定基準

<p>(概要) 当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目が1科目以上あれば、進級・卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が総授業回数$\frac{2}{3}$未満の者は進級・卒業できない。学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流COMによる留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。</p>

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	8人 (33.3%)	12人 (50%)	4人 (16.7%)
<p>(主な就職、業界等) 消防、警察、海上保安庁、自衛隊、病院 等</p>			
<p>(就職指導内容) キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）) 救急救命士</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71人	8人	11.3%
<p>(中途退学の主な理由) 学力不足 進路変更 目的意識喪失 人間関係 等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、</p>		

補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校（80校）への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,685 単位時間/単位	2,055 単位時間 /単位	単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	450 単位時間 /単位	
			2,685 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	140人	1人	7人	27人	34人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。 A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点 尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内での課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目が1科目以上あれば、進級・卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が総授業回数の3分の2未満の者は進級・卒業できない。学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。</p>
<p>学修支援等</p>

(概要) 担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流 COM による留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28 人 (100%)	0 人 (0%)	18 人 (64.3%)	10 人 (35.7%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院 鍼灸整骨院 整骨院 クリニック 等			
(就職指導内容) キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) はり師・きゅう師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
122 人	5 人	4.1%
(中途退学の主な理由) 学力不足 進路変更 目的意識喪失 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校（80校）への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応えて中退を防止している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,750 単位時間/単位	1,380 単位時間 /単位	990 単位時間 /単位	1,380 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,750 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人	302人	0人	9人	22人	31人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。 A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点 尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内での課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目が1科目以上あれば、進級・卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が総授業回数の3分の2未満の者は進級・卒業できない。 学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。</p>
学修支援等
<p>（概要）担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流COMによる留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
65人 (100%)	0人 (0%)	49人 (75.4%)	16人 (24.6%)
(主な就職、業界等) 病院 クリニック 等			
(就職指導内容) キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
304人	22人	7.2%
(中途退学の主な理由) 学力不足 進路変更 目的意識喪失 人間関係 経済的理由 体調不良 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校（80校）への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応えて中退を防止している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	作業療法科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,585 単位時間/単位	1,260 単位時間 /単位	960 単位時間 /単位	1,365 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位

			3,585 単位時間／単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160 人	91 人	0 人	7 人	26 人	33 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点</p> <p>尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内での課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目が1科目以上あれば、進級・卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が総授業回数の3分の2未満の者は進級・卒業できない。</p> <p>学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。</p>
学修支援等
<p>（概要）担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流COMによる留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	17人 (85%)	3人 (15%)
(主な就職、業界等) 病院 クリニック 等			
(就職指導内容) キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 作業療法士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
105人	9人	8.6%
(中途退学の主な理由) 学力不足 進路変更 目的意識喪失 人間関係 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校(80校)への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	薬業科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間/単位	1,680 単位時間 /単位	825 単位時間 /単位	1,470 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,975 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	68人	0人	2人	12人	14人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。 A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点 尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内の課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 1年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。また、2年次までの合計修得単位が114単位以上の者は、卒業することができる。 学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。</p>
学修支援等
<p>（概要）担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流COMによる留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	0人 (0%)	31人 (100%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等） ドラッグストア 調剤薬局 化粧品メーカー 等</p>			

(就職指導内容) キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。
(主な学修成果(資格・検定等)) 登録販売者 ヘルスケアアドバイザー 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	3人	5.0%
(中途退学の主な理由) 目的意識喪失 人間関係 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校(80校)への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,670 単位時間/単位	1,155 単位時間 /単位	1,035 単位時間 /単位	990 単位時間 /単位	3,180 単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		108人	1人	4人	38人	42人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2

月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。

成績評価の基準・方法

(概要) 試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。

A : 100~80点 B : 79~70点 C : 69~60点 D : 59~0点
尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内の課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。

卒業・進級の認定基準

(概要) 当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目が1科目以上あれば、進級・卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が総授業回数の3分の2未満の者は進級・卒業できない。

学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。

学修支援等

(概要) 担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流COMによる留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41人 (100%)	0人 (0%)	38人 (92.7%)	3人 (7.3%)

(主な就職、業界等)
歯科クリニック 等

(就職指導内容)
キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。

(主な学修成果(資格・検定等)) 歯科衛生士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
113人	5人	4.4%
(中途退学の主な理由) 学力不足 進路変更 目的意識喪失 人間関係 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校(80校)への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼夜	3,030 単位時間/単位	870 単位時間/単位	1,125 単位時間/単位	1,035 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
	昼		3,030 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		127人	0人	9人	31人	40人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。

成績評価の基準・方法
<p>(概要) 試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点</p> <p>尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内の課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科目が1科目以上あれば、進級・卒業できない。また、履修すべき学科目のいずれかについて、出席回数が総授業回数の3分の2未満の者は進級・卒業できない。</p> <p>学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。</p>
学修支援等
<p>(概要) 担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流COMによる留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	33人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院 クリニック 等			
(就職指導内容) キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119 人	2 人	1.7%
(中途退学の主な理由) 学力不足 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校（80校）への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	スポーツ科学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間/単位	630 単位時間 /単位	1,185 単位時間 /単位	600 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,415 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人	132 人	0 人	5 人	61 人	66 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。
成績評価の基準・方法
（概要）試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。

<p>A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点 尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内の課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要) 1年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。また、2年次までの合計修得単位が114単位以上の者は、卒業することができる。 学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。 このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) 担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流COMによる留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
60人 (100%)	10人 (16.7%)	40人 (66.6%)	10人 (16.7%)
(主な就職、業界等) スポーツクラブ、クリニック、パーソナルトレーニングジム、整骨院 等			
(就職指導内容) キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) アスレティックトレーナー 健康運動実践指導者 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
127人	4人	3.1%

(中途退学の主な理由) 進路変更 目的意識喪失 人間関係 等
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校（80校）への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療事務ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間/単位	2,055 単位時間 /単位	1,980 単位時間 /単位	1,350 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			5,385 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		31人	0人	4人	22人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。
成績評価の基準・方法
（概要）試験方法は、筆記試験、口頭試験、実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは課題の提出によって試験に変えることがある。成績評価は、各科目について出席率、授業態度、試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、4段階評価とする。評価はA/B/Cを合格とし、Dを不合格とする。 A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点 尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履

修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内での課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者。
卒業・進級の認定基準
(概要) 1年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。また、2年次までの合計修得単位が114単位以上の者は、卒業することができる。 学校長は前項の認定を行うために、学校長及び教務部長、学科長など学校長が指名した者より構成される進級判定会議、卒業判定会議を開催し、審査の上、判定する。 このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している。
学修支援等
(概要) 担任制を引いており、担任を中心に全教職員が一丸となって、一人ひとりの状況に合わせて個別支援を徹底すると共に、保護者とも密に連携して学生支援に当たっている。更に、補習・補講・個別指導を多く取り入れ、教科支援にも力を入れている。また、キャリアセンターによる就職支援、滋慶トータルサポートセンター・慶生会クリニック・慶生整骨院・慶生鍼灸院による健康支援、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援、留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度、国際交流COMによる留学生支援など、学校生活を成功させる為に、様々な側面で多岐に渡る支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29人 (100%)	13人 (44.8%)	15人 (51.7%)	1人 (3.4%)
(主な就職、業界等) 病院 クリニック 歯科クリニック 調剤薬局 等			
(就職指導内容) キャリアセンタースタッフ及び担任を中心に、個別カウンセリングを実施し、求人開拓、情報提供、履歴書指導、面接指導など一人ひとりの状況や希望に合わせた、きめの細かい支援を実施している。また、就職セミナーや就職ガイダンス等を通して、職業観・勤労観を醸成すると共に、就職活動に係る疑問・不安を解消し、安心して就職活動ができるよう支援を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療秘書技能検定2級・準1級 診療報酬請求事務能力検定 医事コンピュータ2級 電子カルテ 診療情報管理士 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	3人	6.4%

(中途退学の主な理由)

進路変更 目的意識喪失 等

(中退防止・中退者支援のための取組)

学生サポートアンケートや授業アンケートなどの各種アンケート、担任等による定期的な個別面談、ポートフォリオなどを活用して、学生一人ひとりの状況を正確に把握し、早期に問題を発見し、適切な支援や対策を講じて中退防止に努めている。また、補習・補講・個別指導を充実させることで学力不足による中退防止を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由での中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校（80校）への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復科	400,000 円	600,000 円	760,800 円	
救急救命公務員科	300,000 円	700,000 円	690,800 円	
鍼灸科	400,000 円	1,000,000 円	655,800 円	
理学療法科	300,000 円	700,000 円	570,800 円	
作業療法科	300,000 円	700,000 円	570,800 円	
薬業科	100,000 円	590,000 円	400,800 円	
歯科衛生士科	200,000 円	600,000 円	430,800 円	
看護科	200,000 円	600,000 円	640,800 円	
スポーツ科学科	100,000 円	590,000 円	520,800 円	
医療事務ビジネス科	100,000 円	590,000 円	415,800 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページに掲載 https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo09		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
自己点検・自己評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、学校関係者評価委員会を置き、年1回以上委員会を開催する。評価委員会は、自己点検・自己評価結果の客観性・透明性を高め、学校運営の改善を目的としている。委員会は、業界代表(各学科に係る業界より1名 合計10名)及び卒業生代表、地域代表、高等学校代表、保護者代表の14名で構成される。委員会では、自己点検・自己評価に基づき、「教育理念・目的・育成人材像」「学校運営」「教育活動」「学修成果」「学生支援」「教育環境」「学生の募集と受入れ」「財務」「法令等の遵守」「社会貢献・地域貢献」について評価をして頂き、常務理事を始め、学校長、事務局長、教務部長、学科長等で共有し、全スタッフに周知して、多岐に渡る学校運営の改善に努める。また、評価結果はホームページで公開し、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善にも努める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人福岡県柔道整復師会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	業界代表 (柔道整復)
医療法人三井会 神代病院	平成31年4月1日～令和2年3月31日	業界代表 (救急救命)
公益社団法人福岡県鍼灸マッサージ師会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	業界代表 (鍼灸)
医療法人せと山荘クリニック	平成31年4月1日～令和2年3月31日	業界代表 (理学療法)

医療法人誠和会 牟田病院	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	業界代表（作業療法）
株式会社 サンドラッグ	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	業界代表（薬業）
医療法人桜香あんざい歯科クリニック	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	業界代表（歯科衛生士）
社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 福岡県済生会八幡総合病院	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	業界代表（看護）
九州スポーツクラブ協議会	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	業界代表（スポーツ）
医療法人相生会 金隈病院	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	業界代表（医療事務）
スポーツ科学科卒業生	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	卒業生代表
博多校区大浜公民館	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	地域代表
福岡県立光陵高等学校	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	高等学校代表
理学療法士科在校生（3年）保護者	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	保護者代表
学校関係者評価結果の公表方法		
学校ホームページに掲載 https://www.iken.ac.jp/school/public_info/index.html#shoolinfo09		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
<http://www.iken.ac.jp>